

保育施設基本情報フォーマット_逦照こども園様

園・施設名	社会福祉法人 逦照会 逦照こども園
経営主体	社会福祉法人 逦照会
所在地	〒710-0807 岡山県倉敷市西阿知町465-1
定員	175名
理事長名	大原正裕
園長名	大原恵子
採用担当者	大原恵子
電話番号	086-465-1728
保育理念 保育方針 保育目標	<p>教育・保育理念：私たちは、子どもの権利条約、教育基本法、児童福祉法、子ども・子育て支援法に基づき、学校教育と児童福祉、および子育て支援の機能を持ち合わせ、保護者や地域社会と力を合わせ、児童の教育と福祉を積極的に増進するものである。 私たちは、教育・保育に当たっては、子どもの人権や主体性を尊重し、入園から就学まで連続した一貫性のある取り組みを行なう。 私たち職員は、知識の習得と技能の向上に努めることとし、常に社会性と良識を高めることも研鑽を重ね、職員相互において努力するものである。</p> <p>教育・保育方針： ・教育・保育内容については、「教育・保育要領」に依拠して実践するものであるが、教育・保育に臨む基本的姿勢にあつては、種々の法的規則を遵守し、常に計画・実践・評価反省・改善行動を行ないながら継続的改善を目指す。 ・子どもや家庭に対しては、わけへだてなく教育・保育を行ない、人権を尊重しプライバシーを保護することを第一義とする。また、児童にとって非常に良い教育・保育を提供し、遂行するために、専断的な姿勢に陥らないよう、保護者から意見や要望があれば真摯に傾聴し、不明なところがあれば平易に説明をして理解を求め、職員一人ひとりが努力を研鑽することを基本とする。</p> <p>①安全を基本として保護者と協同し、健康な身体づくりをすすめる。 ②情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自発・自らの活動ができるようにする。 ③少しの困難に負けない心と体を醸成し、「生き抜く力の基礎」を育成する。 ④保護者の要望や意見、苦情、を受け止めすみやかに小さくを講じる。 ・家庭や地域との交流を図り、相互理解に努める。</p> <p>教育・保育目標： ・未来（ゆめ）を想像し、未来（ゆめ）に向かって自分を創造できる子ども（ひと）を育てる保育を目指す。 ・子どもを愛し、その成長を喜びとし、一緒に育てることを保護者、地域、職員みんなで楽しみながら、生きる力を育む保育を目指す。</p>
保育環境	0歳児1歳児2歳児はケアワーク担当制をもとに丁寧な保育が提供できるようにしております。 3歳児4歳児5歳児は異年齢保育を行い、基本的な生活習慣の自立と主体的な遊び学びができるようにしております。
ホームページURL	https://henjyoukai.jp/publics/index/19/
事前質問	<p>※《保育の質》についてのお考えをお聞かせください。</p> <p>一人ひとりの子どもの可能性・能力を引き出せるのが、「質の高い保育」と考え、具体的に園の中で保育者がすることについては、①子どもについて大人同士で語ります。②こどもの興味から始め、体験を広げます。③子どもの「今」にあった環境を用意します。④子どもをプラスの目で見るとを忘れません。⑤気持ちを分かろうとし、対話の主導権は子どもに。⑥今までの当たり前、思い込みを見直し、常に「子どもにとっては？」を問います。⑦「うまくできたか」の結果より、プロセスで成長を振り返ります。⑧活動は、(1)子どもが納得するまで継続(2)子ども同士でシェア(3)見える化（記録の開示）(4)保護者と子どもたちの育ちを喜びます。⑨すべてをユーモアのある遊び（＝学び）に。（引用文献：エデュカール）</p> <p>「保育の質」の向上」のために取り組んでおられることについて、具体的にご紹介ください。</p> <p>0歳児1歳児2歳児クラスは日課表を作成し、保育教諭の動きを毎月クラス全体で共有し、確認しています。 3歳児4歳児5歳児クラスは5歳児会議を元にテーマ遊びを各グループで決め、職員全体で共有することになっています。</p> <p>学生の就活において「職員同士の"人間関係"」が重視されていることについて、お考えをお聞かせください。</p> <p>笑顔で働けるよう園長・主幹教諭・現場リーダーが連携しコミュニケーションを一人ひとり取るように心がけています。ハラスメント研修等も行い、相談窓口を設け、お互いに尊重し合える職場作りに努めています。</p> <p>乳幼児期における「子どもと保育者の望ましい関係」についてのお考えをお聞かせください。 また、そのような関係を築く上で大切にしていること、実践していることを具体的に教えてください。</p> <p>まずは、安全で優しい雰囲気の中で尊重し合える関係が大切だと考えています。例えば0歳児であっても鼻水をとる際に「鼻水とっていい？」「鼻水ふかせてね」等確認し、許可をとってからとる、という対応を心がけています。</p> <p>生活習慣の自立に向けた援助や関わりで大切にしていることについて、簡単な事例を基にご紹介ください。</p> <p>毎日同じ手順で行うように気をつけています。くつ下をはくのも右からはく。服のたたみ方や防止のかぶり方も職員で共有して同じ手順で行います。</p>
学生へのメッセージ	自分の思いを表現したり、伝えることができ、子どもと共に成長できる園に出会えるために、自分の強みを見つけてください。